



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ
2024年6月27日(木)

インターナル・カーボンプライシング制度を導入 ～脱炭素・気候変動対策を推進～

株式会社ロッテ（代表取締役社長執行役員：中島英樹）はこのほど、当社の製造設備の投資を対象に、インターナル・カーボンプライシング制度*（以下、ICP制度）を導入しました。ICP制度を活用することで、脱炭素や気候変動対策を推進します。

* インターナル・カーボンプライシング制度：企業が独自にCO₂排出量に仮想的な価格を設定し、内部の意思決定に活用する仕組み。排出するCO₂を独自の基準で費用として可視化することにより、企業が脱炭素を推進するために活用されます。

■当社のICP制度の概要

社内炭素価格	7,000円 / t-CO ₂
ICP制度対象	製造設備の投資
適用方法	対象となる製造設備の投資に伴うCO ₂ 排出量に対し、社内炭素価格の適用により費用換算したものを、投資判断の参考とする。